

## 2021年度 国内競技規則(モトクロス)変更点のお知らせから、抜粋

### 5. 全日本選手権シリーズにおけるプロテクター着用義務化 (予告)

モトクロス競技の安全性を確保するため、2022年より全日本選手権シリーズにおけるバックプロテクターとチェストガードの装備を義務付けることと致します。

※2021年は予告のみです。

22年からの義務化に向けて、2021年全日本選手権に参戦されるライダーの皆様には、プロテクターを着用していただきますよう推奨いたします。また、今後地方選手権や承認競技会に関しても着用の義務化を目指しており、モトクロス競技に参加するライダーの皆様には、ご自身の身を守るプロテクターを着用して頂くようお願いいたします。

[予告]

2022年から全日本選手権のIA1・IA2・IBOPEN・レディースクラスに出場するライダーは、バックプロテクター・チェストガード(プレストガード)の装備が義務付けられる。

バックプロテクター・チェストガード(プレストガード)は硬質の樹脂製であること。内側には衝撃緩衝効果のある素材が取り付けられていることが望ましい。

CE規格・EN1621-2[Level1またはLevel2]適合品のバックプロテクターおよびEN1621-3level1またはLevel2適合品のチェストガードを使用する場合は、硬質の樹脂製でなくても使用が認められる。

バックプロテクターおよびチェストガード(プレストガード)はジャージの上に着用しても、ジャージの下に着用しても良い。